

第7 2回日本PTA全国研究大会川崎大会 地方協議会活動事例推薦用紙

ブロック協議会名	東北ブロックPTA協議会	ブロック協議会 会長名	浅野 直美
被推薦 地方協議会名	宮城県PTA連合会	被推薦 地方協議会会長名	浅野 直美

推薦した理由を教えてください（川崎大会のスローガンに照らしてみても可）
※本欄はブロック協議会会長が記入をお願いします。

地方協議会を構成する全ての小・中学校（単位PTA）会長が、一会場に集い、心一つに学び
問題点や情報を共有することを目的に毎年開催している。

活動事例の名称 宮城県PTA連合会単位PTA会長会

1. 活動の内容を紹介してください

毎年7月上旬ごろに各単位PTA会長が、一会場に集い ①県PTA連合会の案内及び役割等につ
いての説明会 ②基調講演 ③グループトークング を行い会長としての資質向上をはかる。
また、単位PTAとの情報等の共有をはかり、単位PTAとの繋がりを深めることに務める。

2. 何故その活動に取り組んだのか背景（課題等）や目的を教えてください

令和5年度で第18回となりますが、当初の目的は単位PTA会長から「県PTA連合会って
よくわからない」という声が多く聞かれ約450名を一会場に集め、県Pをはじめ日P・東北P
についても共に学び、県P・東北P・日Pに対する理解協力を得ることを目的とした。
現在はそれに加え、会長としての資質向上と単位PTAとの懸け橋となることを目的としている。

3. 活動に協力してくれた「PTA以外」の団体や企業とのつながり（ご縁）について 教えてください

講演者としてご協力いただいた講師は県P役員が選出した。また会場はできるだけ経費削減に努め
たため公共の施設を利用した。その際、教育委員会等の協力を得て減免等の措置ができた。

4. 活動を通して貴協議会の役員や理事にどのような変化がありましたか。 また、貴協議会に所属する学校PTAの会員にどのような変化がありましたか。

役員で「日Pって？」とか「東北Pって？」との声は聴かれなくなった。各単位PTAの会員が前よ
りは県Pに対して理解協力が得られるようになったと感じている。
また、日P・東北P研究大会等への参加者が増えている。